

宇美町

エコトリコ

(2016年広報5月号)



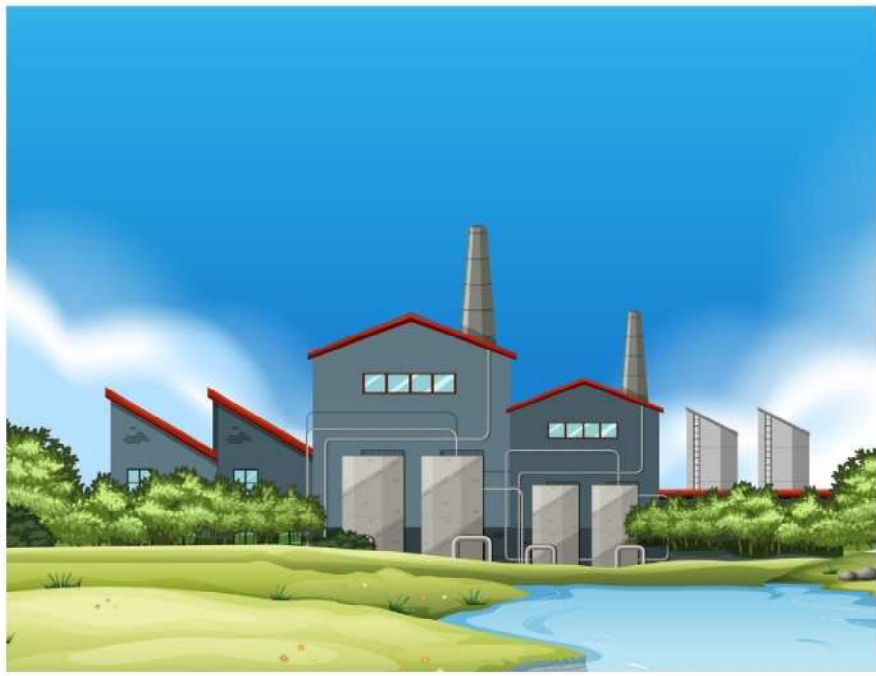
日本の昭和30年代・40年代は歴史上まれにみる経済発展期で、「高度経済成長期」と称されていますが、生産現場からの排煙・排水による環境汚染由来の公害病が増え、他国からは「世界一の環境汚染大国」と揶揄されていました。地域名がつけられた喘息や神経障害を患う人々が増え、環境問題改善のために「産・官・学」で取り組み、1970年の公害国会において成立した公害対策関連法をきっかけに、産業界には各種の排出に厳しい規制がかけられ、現在日本は、世界でも有数の環境改善国になりました。

発生した公害病の発生源はすぐ傍に会ったことを決して忘れてはいけません。私たちが住む宇美町を、より住みやすい街にするために必要なことは、私たち一人ひとりの意識改革ではないでしょうか？

他方で一般家庭では、「自主規制」というと何だか堅苦しくなりますが、

決して難しい問題ではありません。毒性が強いものの排出はないとしても、現在世界中で大問題になっているCO₂の削減には、電気やガソリンをはじめとした、エネルギー消費の無駄をなくすために少し意識を変えただけで、10%〜20%は削減できるといわれています。その意識改革のためのひとつの手段として、前回案内した「エコファミリー宣言」の登録があります。各家庭のエネルギー消費量(料)の前月比・前年比を可視化することで有効な改善策です。

公害に話を戻しますが、全国各地で



文責

福岡県地球温暖化防止活動

推進員

竹吉

栄隆